

「第2期津山市国民健康保険データヘルス計画及び第3期津山市国民健康保険特定健康診査等実施計画」の個別保健事業の評価は下表のとおりです。

(1) 評価の方法について

評価の達成については、絶対評価、相対評価、総合評価それぞれ次の基準により評価します。

	絶対評価 【目標値との比較】	相対評価 【ベースラインとの比較】	総合評価
判定区分	A 目標を達成 B 目標の達成の可能性が高い C 目標の達成は難しいが、ある程度の効果はある D 目標の達成は困難で、効果があるとは言えない E 評価困難	A 改善している B おおむね改善 C 変わらない D 悪化している E 評価困難	A うまくいっている B ほぼ、うまくいっている C あまりうまくいっていない D まったくうまくいっていない E 評価困難

(2) 評価区分について

データヘルス計画評価シートを活用し、ストラクチャー、プロセス、アウトプット、アウトカムの4つの区分により評価を行います。各事業において評価を行い、推進要因・未達成要因を見出し、実績と課題の整理を行ったうえで、見直しと改善案を検討します。

評価の4区分

区分	概要
ストラクチャー (S)	保健事業を実施するための仕組みや体制を評価
プロセス (P)	事業の目的や目標の達成に向けた過程（手順）や活動状況を評価
アウトプット (OP)	目的・目標の達成のために行われる事業の結果を評価
アウトカム (OC)	事業の目的や目標の達成度、または成果の数値目標を評価

(3) 各事業の評価

①特定健康診査

事業名		特定健康診査の実施と受診率向上				
評価			実施率（令和4年度）			県内順位
絶対評価	相対評価	総合評価	国	県	津山市	H28-R4年
C	A	B	(37.3%)	32.8%	35.3%	19位-17位
課題と考察						
<p>【ストラクチャー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 津山市医師会と年2回の協議にて、特定健診受診者の分析等の情報共有や意見交換を継続実施している。また、庁内ではがん検診や保健事業を共同で実施している関係課と定期的に打合せを行い、細かな調整を行っている。 <p>【プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 未受診者勧奨対策として、令和4年度からは、ナッジ理論を活用したハガキデザインを、セグメント別に送り分けたり、SMS（ショートメール）による勧奨、データ提供事業の通知勧奨等を実施した。これにより、送付直後には電話や来庁による反応が多くあった。また若い層は、SMS勧奨時に実施した、Webサイト上の特設ページをアクセス後の受診者が増加するなどの効果があった。 新規加入者への受診勧奨として、ハガキのほか国民健康保険団体連合会支援による在宅保健師「ももの会」による電話勧奨を実施している。 健診未受診者の半数以上は生活習慣病治療者であり、医師会への協力依頼や、治療者への周知、働きかけを継続して行っている。未受診者対策での評価や分析結果を次年度に反映させている。 年度途中加入者への取組として、加入手続きの際に、特定健診の情報提供を行ったり、電話番号の取得の取組を行っている。 未受診者対策としての重点取組地区への取組は、効果が薄く、またコロナ禍でもあり令和元年度以降は、実施していない。 市独自の人間ドック受診費用助成制度や個別のデータ提供事業での粗品贈呈の取組を実施することで、データ提供数増加への効果があった。 <p>【アウトカム・アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診率は、年々増加傾向だったが、新型コロナウイルス感染症の影響から、令和2年度は前年度比-2.0ポイントと受診率が低下したが、国・県も同様の状況であった。令和3年度の受診率では前年度比+1.0ポイントで、国・県の伸び比と比較すると少なく、県内順位は23位だった。 対象者数（母数）の減少も影響しているが、令和4年度は未受診者対策の実施、人間ドック受診費用助成制度の拡充による取り組みから、前年度比+6.3ポイントと受診率が向上したが、国の目標値には達していない。県内順位は17位。個別健診受診者数の増加、人間ドック受診費用助成制度・岡山県特定健診情報提供事業・個別のデータ提供事業では前年度より倍増した。一方、コロナ禍以降、感染不安の影響もあり、集団健診の受診者数は減少傾向であるが、継続受診者の受診先になっている。60～70歳代と比較すると受診率は低いが、令和4年度は40～50歳代の受診率も前年比+4.6ポイントと増加した。 未受診者対策としての受診勧奨ハガキの送付は、令和4年度からは受診への行動化のため、コール・リコール勧奨（再勧奨）を実施したことで、通知数が増加した。 <p>【課題と見直し・改善の案】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受診率を更に向上させるため、未受診者対策としてのセグメント別のハガキの送り分け、SMSによる勧奨などを、前年度の受診者分析から、勧奨資材を改善して実施していく。また、若い層への未受診者勧奨としては、若年層のアクセス率が高く、未経験者への勧奨効果が高いとされるSMS勧奨や電話での勧奨を継続実施するため、途中加入時の電話番号取得と窓口での勧奨を積極的に取り組む。 新規加入者・若年層への受診勧奨、継続受診への働きかけのため、SNS等を積極的に活用した周知を行う。 健診未受診者の半数以上は生活習慣病治療者であり、更なるデータ提供者の確保のための周知及び医療機関への協力依頼を行う。 						

評価区分	事業内容・評価指標	ベースライン (H28年度)	目標値 (R5年度)	実績		絶対評価
				平成29年度	令和元年度	
ストラクチャー	医師会との協議 (保健対策委員会)	年2回	年2回	平成29年度	年2回	A
				平成30年度	年2回	
				令和元年度	年2回	
				令和2年度	年2回	
				令和3年度	年2回	
	健康増進課との打ち合わせ	定期的開催	定期的開催	平成29年度	定期的開催	A
				平成30年度	定期的開催	
				令和元年度	定期的開催	
				令和2年度	定期的開催	
				令和3年度	定期的開催	
プロセス	【未受診者対策】 重点取組地区の選定と対策	新規1地区	新規1地区	平成29年度	新規1地区	E
				平成30年度	新規1地区	
				令和元年度	新規1地区	
				令和2年度	-	
				令和3年度	-	
				令和4年度	-	
アウトプット	【未受診者対策】 (国保ヘルスアップ事業) 受診勧奨ハガキの送付	10,260人	10,000人	平成29年度	9,009人	A
				平成30年度	10,312人	
				令和元年度	10,246人	
				令和2年度	10,150人	
				令和3年度	9,632人	
	対象者への受診券送付	100%	100%	平成29年度	100%	A
				平成30年度	100%	
				令和元年度	100%	
				令和2年度	100%	
				令和3年度	100%	
	新規加入者への受診勧奨	100%	100%	平成29年度	100%	A
				平成30年度	100%	
令和元年度				100%		
令和2年度				100%		
令和3年度				100%		
アウトカム	特定健康診査実施率(受診率) 令和2年度 45.0% 令和5年度 60.0%	29.2%	60.0%	平成29年度	27.8%	C
				平成30年度	29.4%	
				令和元年度	30.0%	
				令和2年度	28.0%	
				令和3年度	29.0%	
				令和4年度	35.3%	
	個別健診受診者数	3,184人	-	平成29年度	3,234人	-
				平成30年度	2,858人	
				令和元年度	2,713人	
				令和2年度	2,549人	
				令和3年度	2,460人	
	集団健診受診者数	872人	-	平成29年度	842人	-
				平成30年度	1,127人	
				令和元年度	1,039人	
				令和2年度	829人	
令和3年度				918人		
				令和4年度	738人	

評価 区分	事業内容・評価指標	ベースライン (H28年度)	目標値 (R5年度)	実績		絶対 評価
アウトカム	40～50歳代の受診率	17.4%	前年度比向上	平成29年度	15.3%	A
				平成30年度	17.7%	
				令和元年度	17.8%	
				令和2年度	15.7%	
				令和3年度	16.7%	
				令和4年度	21.6%	
	特定健康診査（簡易版）の受診率	1.3%	1.0%	平成29年度	0.4%	C
				平成30年度	1.1%	
				令和元年度	0.7%	
				令和2年度	0.64%	
				令和3年度	0.53%	
	ナイター健診の受診率	0.1%	1.0%	平成29年度	0.1%	C
				平成30年度	0.2%	
				令和元年度	0.3%	
				令和2年度	0.2%	
				令和3年度	0.3%	
【データ提供による受診率】 個人（粗品・JA・人間ドック） 医療機関	1.6%	2.0%	平成29年度	1.6%	A	
			平成30年度	1.7%		
			令和元年度	2.7%		
			令和2年度	3.01%		
			令和3年度	3.62%		
			令和4年度	6.11%		

②特定保健指導事業

事業名		特定保健指導の利用と実施率向上				
評価			実施率（令和4年度）			県内順位
絶対評価	相対評価	総合評価	国	県	津山市	H28-R4年
C	A	B	(26.7%)	18.8%	31.4%	12位-8位
課題と考察						
<p>【ストラクチャー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から集団健診での全日程で、特定保健指導の同日実施を行ったことで、実施率が増加した。 実施医療機関数増加など、利便性向上のため、医師会や集団健診委託機関との話し合いを実施している。 特定保健指導を行う専門職として、医療保険課に保健師・管理栄養士を配置しており、情報交換や研修等へ積極的に参加し、対象者の満足度や行動変容のための専門職の質の向上を行っている。 <p>【プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通知後の早い時期に電話による利用勧奨を実施しているが、無関心である場合も多く、関心はあっても実践に至らない人も多くいる。 利用勧奨についての見直しを毎年行い、電話勧奨マニュアルを作成している。電話が繋がった場合には、健診結果の受け止めの認識や結果から想定される生活習慣など、少しでも意識を高められるような電話指導を行っている。 特定保健指導の利用を開始しても終了まで至らない場合もあり、指導手段として、面談・電話の他、手紙・メール・オンライン等の方法を提示している。 <p>【アウトカム・アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導実施率は増加傾向にあり、令和3年度から集団健診での保健指導同日実施開始により、特定保健指導実施率は前年度比+11.4ポイントと大きく増加した。令和4年度は前年度比-0.4ポイントと減少したが、指導実施者（終了者）数は増加している。国・県平均と比較して高い状況にあるが、目標値には達していない。県内順位は8位。特定保健指導実施数(利用者)が増加したが、初回指導後最終評価まで終了しない、中断者が一定数いる。 対象者全員に利用券と利用案内を送付し、未利用者対策として、利用券送付後早期に電話勧奨を実施している。 実施医療機関数が減少しており、医療機関委託での特定保健指導の利用者数は少ない。 <p>【課題と見直し・改善の案】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査との同日実施を継続して勧める。 利用者の新規獲得及び終了者数増加のため、SNSの活用等、特定保健指導の内容を見直し、個人の特性に合わせて実施する。 委託機関との話し合いの継続を実施する。 医療機関での利用者数増加のため、医療機関への調査や説明などを実施し、連携を図る。 専門職の人員確保と保健指導の質の向上に向けて、研修等に積極的に参加する。 継続対象者で数値が悪化している未利用者に対しての勧奨を工夫する。 						

評価区分	事業内容・評価指標	ベースライン (H28年度)	目標値 (R5年度)	実績		絶対評価
ストラクチャー	実施医療機関数の増加	17 機関	20 機関	平成29年度	17 機関	C
				平成30年度	16 機関	
				令和元年度	18 機関	
				令和2年度	17 機関	
				令和3年度	17 機関	
				令和4年度	14 機関	
	同日実施医療機関数の増加	-	10 機関	平成29年度	-	C
				平成30年度	3 機関	
				令和元年度	7 機関	
				令和2年度	6 機関	
令和3年度				8 機関		
			令和4年度	5 機関		

評価区分	事業内容・評価指標	ベースライン (H28年度)	目標値 (R5年度)	実績		絶対評価
				年度	実績	
プロセス	利用勧奨の見直し	実施	実施	平成29年度	実施	A
				平成30年度	実施	
				令和元年度	実施	
				令和2年度	実施	
				令和3年度	実施	
				令和4年度	実施	
アウトプット	特定保健指導実施数（対象者）	544人	-	平成29年度	468人	-
				平成30年度	483人	
				令和元年度	476人	
				令和2年度	407人	
				令和3年度	421人	
				令和4年度	477人	
	特定保健指導実施数（利用者）	96人	250人	平成29年度	80人	C
				平成30年度	92人	
				令和元年度	101人	
				令和2年度	95人	
				令和3年度	160人	
				令和4年度	166人	
	特定保健指導実施数（終了者）	86人	250人	平成29年度	76人	C
				平成30年度	79人	
				令和元年度	91人	
				令和2年度	83人	
				令和3年度	134人	
				令和4年度	150人	
	対象者全員に利用案内を送付	100%	全員送付	平成29年度	100%	A
				平成30年度	100%	
				令和元年度	100%	
				令和2年度	100%	
				令和3年度	100%	
				令和4年度	100%	
未利用者対策 （国保ヘルスアップ事業） 電話勧奨を実施	100%	100%	平成29年度	100%	A	
			平成30年度	100%		
			令和元年度	100%		
			令和2年度	100%		
			令和3年度	100%		
			令和4年度	100%		
アウトカム	特定保健指導実施率（終了率） 令和2年度 45.0% 令和5年度 60.0%	15.8%	60.0%	平成29年度	16.2%	C
				平成30年度	16.4%	
				令和元年度	19.1%	
				令和2年度	20.4%	
				令和3年度	31.8%	
				令和4年度	31.4%	
	内臓脂肪症候群該当者の減少率	21.9%	前年度比向上	平成29年度	18.9%	A
				平成30年度	18.8%	
				令和元年度	20.4%	
				令和2年度	15.9%	
				令和3年度	13.5%	
				令和4年度	21.2%	

③生活習慣病対策

事業名		糖尿病予防教室
評価		課題と考察
絶対評価	総合評価	
C	B	<p>【ストラクチャー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係課と定期的に打合せを行い、糖尿病予防教室実施や糖尿病についての周知を行っている。 <p>【プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師・管理栄養士の講話、作業療法士の講話とノルディックウォーク等の運動体験を実施しており、学びと体験により生活習慣を改めるきっかけとしている。 <p>【アウトカム・アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖代謝の指標であるHbA1cの基準を超える人に案内を送っているが、参加者数は目標値に達しておらず、令和2年度から令和4年度は4～5%の参加率となっている。 <p>【課題と見直し・改善の案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係課にて協議し、早期から意識づけができ、自ら興味をもてるような勧奨方法の検討や、対象者の選定、教室の内容の見直しを行う。

評価区分	事業内容・評価指標	ベースライン (H28年度)	目標値 (R5年度)	実績		絶対評価
ストラクチャー	庁内連携体制の整備	実施	実施	平成29年度	実施	A
				平成30年度	実施	
				令和元年度	実施	
				令和2年度	実施	
				令和3年度	実施	
				令和4年度	実施	
プロセス	啓発内容について検討	実施	実施	平成29年度	実施	A
				平成30年度	実施	
				令和元年度	実施	
				令和2年度	実施	
				令和3年度	実施	
				令和4年度	実施	
アウトプット	糖尿病予防教室の実施	年4回	年4回	平成29年度	年4回	A
				平成30年度	年4回	
				令和元年度	年2回	
				令和2年度	年4回	
				令和3年度	年4回	
	基準を超える人全員に利用勧奨	100%	100%	平成29年度	100%	A
				平成30年度	100%	
				令和元年度	100%	
				令和2年度	100%	
				令和3年度	100%	
アウトカム	参加者数/対象者数	92人/895人	80人 (20人/回)	平成29年度	90人/878人	C
				平成30年度	128人/878人	
				令和元年度	40人/467人	
				令和2年度	41人/970人	
				令和3年度	54人/948人	
				令和4年度	41人/896人	

事業名		糖尿病性腎症重症化予防事業	
評価		課題と考察	
絶対評価	総合評価		
B	B	<p>【ストラクチャー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治療中の人を対象とした糖尿病性腎症重症化予防事業は、津山市医師会の協力と外部委託により実施しており、自身の健康状態を正しく理解し、主治医と相談しながら、服薬管理や生活改善に向けた自己コントロール力を獲得できるよう6か月間保健指導をしている。 <p>【プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則面談2回、電話指導10回の個別指導プログラムであり、個々の状況に合わせた指導が実施できるため参加者の満足度は高い。 ・プログラムが6か月間かかるため、途中で自己都合や他疾患治療等で中断となる者がいる。 <p>【アウトカム・アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準を超える人へ全数利用勧奨している。指導実施者数は目標数を達成できているが、中断者がいるため、指導完了率は目標値に達していない年度が多い。 ・検査値の維持・改善できている人が多いが、悪化した人については指導終了時に再度取組内容の確認を行っている。 ・保健指導実施中の新規透析導入者はいない。 <p>【課題と見直し・改善の案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者に全数通知しているが、参加を希望する人は少ない。自身の身体状況に関心を持ち、悪化を予防するための生活改善への動機づけとなるような利用勧奨方法について検討する。 ・糖尿病治療中断者への受診勧奨以外のアプローチ方法を検討する。 	

評価区分	事業内容・評価指標	ベースライン (H28年度)	目標値 (R5年度)	実績		絶対評価
				平成29年度	実施	
プロセス	終了後のフォロー体制の検討	実施	実施	平成29年度	実施	A
				平成30年度	実施	
				令和元年度	実施	
				令和2年度	実施	
				令和3年度	実施	
				令和4年度	実施	
アウトプット	指導対象者数：終了者	7人	10人	平成29年度	15人	A
				平成30年度	21人	
				令和元年度	18人	
				令和2年度	19人	
				令和3年度	13人	
	基準を超える人全員に利用勧奨	100%	100%	平成29年度	100%	A
				平成30年度	100%	
				令和元年度	100%	
				令和2年度	100%	
				令和3年度	100%	
アウトカム	糖尿病性腎症重症化予防事業 指導完了率	88%	100%	平成29年度	100%	B
				平成30年度	100%	
				令和元年度	90%	
				令和2年度	100%	
				令和3年度	92.9%	
令和4年度	93.3%					

評価区分	事業内容・評価指標	ベースライン (H28年度)	目標値 (R5年度)	実績	絶対 評価	
アウトカム	【検査値の維持・改善】 ①BMI n数は値が得られた人 ※肥満度により比較	7人 (n=7)	維持または 改善	平成29年度	15人(n=15)	A
				平成30年度	19人(n=21)	
				令和元年度	18人(n=18)	
				令和2年度	19人(n=19)	
				令和3年度	13人(n=13)	
	令和4年度	13人(n=13)				
	【検査値の維持・改善】 ②HbA1c n数は値が得られた人 ※7.0%以上の数値を0.5%ずつ区分し比較	6人 (n=7)	維持または 改善	平成29年度	9人(n=10)	B
				平成30年度	13人(n=14)	
				令和元年度	15人(n=15)	
				令和2年度	15人(n=15)	
				令和3年度	10人(n=10)	
	令和4年度	6人(n=8)				
	【検査値の維持・改善】 ③eGFR n数は値が得られた人 ※CKD重症度分類 eGFR区分により比較	3人 (n=3)	維持または 改善	平成29年度	3人(n=3)	B
				平成30年度	7人(n=8)	
				令和元年度	8人(n=8)	
				令和2年度	6人(n=7)	
				令和3年度	4人(n=5)	
	令和4年度	4人(n=6)				
	実施中の新規人工透析導入者数	0人	0人	平成29年度	0人	A
				平成30年度	0人	
令和元年度				0人		
令和2年度				0人		
令和3年度				0人		
令和4年度	0人					
①糖尿病治療中断者数 ②その後の未受診者数	-	-	平成29年度	-	-	
			平成30年度	①30人 ②7人		
			令和元年度	①58人 ②11人		
			令和2年度	①32人 ②6人		
			令和3年度	①46人 ②16人		
令和4年度	①45人 ②26人					

事業名		慢性腎臓病(CKD)対策	
評価		課題と考察	
絶対評価	総合評価		
B	B	<p>【ストラクチャー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診受診後の医療機関受診が必要な人に勧奨を実施していたが、勧奨結果の把握がしにくい課題があった。そのため、令和元年度から慢性腎臓病対策として、美作 CKD-NET（ネットワーク）や津山市医師会との連携の中で、対象者が勧奨通知を医療機関へ持参し、医療機関が市へ「CKD 受診連絡票」を提出することで、受診把握ができる仕組みを構築している。また、令和3年度からは糖尿病性腎症についても、岡山方式で医療機関への受診勧奨を行っている。 <p>【プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関受診勧奨通知は、健診結果と対象者ごとの勧奨パンフレットを同封している。 ・ポピュレーションアプローチとしては、10月に津山市立図書館でのパネル展や図書館健康セミナーを実施している。3月には腎臓病予防月間に市役所での懸垂幕掲出や1階市民ロビーでのパネル展等を実施している。 ・CKD 受診に関するシステムについて、美作 CKD-NET と毎年受診状況や通知内容を確認し実施している。 <p>【アウトカム・アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診の検査結果から要医療値で内科を受診していない人に受診勧奨を実施しており、受診者数は増加傾向であるが、目標値には達していない。CKD のみの返信率は、目標値の60%以上を達成している。CKD 受診連絡票の仕組みによる効果と考えられる。 ・糖尿病治療中断者数を把握し、受診勧奨後の経過把握を行っているが、未受診者数が増加傾向である。 <p>【課題と見直し・改善の案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津山市医師会や専門医療機関等との協議を引き続き行い、必要な施策の検討を行う。 	

評価区分	事業内容・評価指標	ベースライン (H28年度)	目標値 (R5年度)	実績		絶対評価
				年度	実績	
ストラクチャー	関係機関との調整 医師会・美作 CKD-NET	-	実施	平成29年度	-	A
				平成30年度	実施	
				令和元年度	実施	
				令和2年度	実施	
				令和3年度	実施	
				令和4年度	実施	
プロセス	CKD 受診に関するシステム	-	作成	平成29年度	-	A
				平成30年度	-	
				令和元年度	作成	
				令和2年度	作成	
				令和3年度	作成	
				令和4年度	作成	
アウトプット	特定健診で要医療値かつ未治療者に対して、医療機関受診勧奨を実施	-	100%	平成29年度	-	A
				平成30年度	100%	
				令和元年度	100%	
				令和2年度	100%	
				令和3年度	100%	
				令和4年度	100%	
アウトカム	医療機関受診率（全体） （内 CKD に関する返信率）	-	60.0%	平成29年度	-	C
				平成30年度	12.1%	
				令和元年度	29.6%(69.4%)	
				令和2年度	21.3%(61.0%)	
				令和3年度	24.3%(64.3%)	
				令和4年度	43.4%(64.2%)	

④医療費適正化

事業名		重複・頻回・多剤服薬者受診指導
評価		課題と考察
絶対評価	総合評価	
C	B	<p>【ストラクチャー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重複・頻回・多剤服薬者への保健指導では、精神的な関わりや介護保険等、他のサービスが必要と判断した場合には、必要なサービスへ繋げられるように地域包括支援センターや健康増進課などの関係課と連携し、情報共有や支援の連繋を行っている。経年的に対象者となる人が一定数いるため、保健指導を丁寧に行っている。 <p>【プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重複・頻回・多剤服薬者の保健指導は、同一疾患で複数医療機関の重複・頻回受診、同一薬効の医薬品を重複して処方され、長期にわたっている人に対し、保健師・看護師等が訪問指導やアンケート送付により、受診状況や服薬状況を確認し、受診指導を実施している。対象者には、受診・服薬状況をまとめた資料やリーフレットを使って、お薬手帳活用や医療のかかり方について、体調を確認しつつ指導を行っている。 <p>【アウトカム・アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重複・頻回・多剤服薬者の訪問指導及びアンケート送付による受診指導は全数実施している。保健指導後、レセプトにて改善状況を確認しているが、年度によりばらつきがあり、改善率は目標値に達していない年度が多い。 <p>【課題と見直し・改善の案】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重複・頻回・多剤服薬者対象者の選定や指導方法等について、津山市医師会・津山薬剤師会と連携し、効率的な方法を検討する。

評価区分	事業内容・評価指標	ベースライン(H28年度)	目標値(R5年度)	実績		絶対評価
				年度	実績	
ストラクチャー	庁内関係課等との連携体制の整備	100%	100%	平成29年度	100%	A
				平成30年度	100%	
				令和元年度	100%	
				令和2年度	100%	
				令和3年度	100%	
				令和4年度	100%	
プロセス	周知方法について	小冊子 広報津山	実施	平成29年度	小冊子・広報津山	A
				平成30年度	小冊子・広報津山	
				令和元年度	小冊子・広報津山・バック配布	
				令和2年度	小冊子・広報津山・市HP・研修会	
				令和3年度	小冊子・広報津山・アンケート・市HP	
				令和4年度	小冊子・広報津山・アンケート・市HP	
アウトプット	受診指導実施率	66.7%	60.0%	平成29年度	90.0%	A
				平成30年度	41.7%	
				令和元年度	81.8%	
				令和2年度	50.0%	
				令和3年度	100%	
	対象者へリーフレット等の送付	100%	100%	平成29年度	100%	A
				平成30年度	100%	
				令和元年度	100%	
				令和2年度	80.0%	
				令和3年度	100%	
アウトカム	指導実施後の改善率	58.3%	50.0%	平成29年度	90.0%	C
				平成30年度	33.3%	
				令和元年度	54.5%	
				令和2年度	33.3%	
				令和3年度	53.8%	
				令和4年度	41.2%	

事業名		医療費通知
評価		課題と考察
絶対評価	総合評価	
A	A	<p>【アウトプット・アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々1人当たりの医療費が高くなる中、医療費通知を対象者へ通知し、医療費の適正化に努めている。近年、医療費通知は確定申告の根拠書類として利用できることから、発行・再発行等の需要がある。 <p>【課題と見直し・改善の案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度から県内すべての市町村で、年2回の通知となるため、マイナポータル上での確認方法とともに、周知が必要。

評価区分	事業内容・評価指標	ベースライン (H28年度)	目標値 (R5年度)	実績		絶対評価
				年度	回数	
アウトプット	医療機関を受診した被保険者世帯へ送付（送付件数）	6回	4回	平成29年度	6回	A
				平成30年度	6回（61,649）	
				令和元年度	4回（44,366）	
				令和2年度	4回（42,475）	
				令和3年度	4回（43,841）	
				令和4年度	4回（43,422）	
アウトカム	医療費水準 医療費指数（全国平均=1とした時の指数）	-	県水準	平成29年度	県1.098 市1.110	A
				平成30年度	県1.096 市1.095	
				令和元年度	県1.105 市1.098	
				令和2年度	県1.109 市1.082	
				令和3年度	県1.095 市1.059	
				令和4年度	県1.094 市1.060	

事業名		ジェネリック差額通知
評価		課題と考察
絶対評価	総合評価	
C	B	<p>【プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリックについて、市ホームページに掲載し周知するほか、10月の薬と健康の週間に合わせてパネル展の実施や広報誌に啓発記事を掲載して周知している。国民健康保険被保険者証送付時の封筒への掲示、保険証ケースやリーフレットの同封、愛育委員会による回覧等、様々な機会を捉えて普及啓発している。 <p>【アウトカム・アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々1人当たりの医療費が高くなる中、ジェネリック差額通知を対象者へ通知し、医療費の適正化に努めている。 ・ジェネリックの普及率は年々着実に上昇しているが、国や県の平均値と比較して低く、目標値には達していない。 <p>【課題と見直し・改善の案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリックの使用促進等の医療費適正化対策について、津山市医師会・津山薬剤師会と連携し、効率的な方法を検討する。

評価区分	事業内容・評価指標	ベースライン (H28年度)	目標値 (R5年度)	実績		絶対評価
プロセス	周知方法について	小冊子 シール 市HP 広報誌	実施	平成29年度	シール、市HP、 広報誌	A
				平成30年度	シール、市HP、 広報誌	
				令和元年度	シール、市HP、 広報誌	
				令和2年度	シール、市HP、 広報誌	
				令和3年度	シール・市HP・ 広報誌・回覧	
				令和4年度	シール・カードケー ス・市HP・広報誌・ 回覧・パネル展	
アウトプット	対象者への通知率	100%	100%	平成29年度	100%	A
				平成30年度	100%	
				令和元年度	100%	
				令和2年度	100%	
				令和3年度	100%	
				令和4年度	100%	
アウトカム	ジェネリック普及率	59.05%	80.00%	平成29年度	62.19%	C
				平成30年度	69.16%	
				令和元年度	73.11%	
				令和2年度	74.54%	
				令和3年度	74.67%	
				令和4年度	75.82%	

事業名		健康ポイント事業	
評価		課題と考察	
絶対評価	総合評価		
A	A	<p>【ストラクチャー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業体制について、健康増進課と協議し、事業内容の検討や周知方法の工夫等を行っている。 <p>【プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知方法として、納入通知書への全数同封や、集団健診や窓口での声かけ、SNS等での広報を実施している。 ・参加申込者がポイント達成した割合は90.1%であり、参加申込者には、交換申請の締め切り前には、電子申請者にメール、ハガキ送付を行いポイント交換申請の勧奨を行った。 ・参加申込者のアンケートでは、概ね好評であり、運動や規則正しい生活を気にするきっかけになった、今後も続けて欲しいという意見が多い。 <p>【アウトカム・アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インセンティブの付与及び受診勧奨のため、20歳以上の津山市国民健康保険被保険者を対象とし、令和3年度から実施している。募集人数のうちの参加率は増加傾向で、目標値を達成している。(参加率：募集人数1,000人に対する参加者数の割合) <p>【課題と見直し・改善の案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイント対象となる取組の見直しや広報等の周知を工夫し、参加率増への取組を行う。 ・市民全体を対象としたICT化について、推進する。 	

評価区分	事業内容・評価指標	ベースライン (H28年度)	目標値 (R5年度)	実績		絶対評価
ストラクチャー	事業体制について健康増進課との協議	実施	実施	平成29年度	実施	A
				平成30年度	実施	
				令和元年度	実施	
				令和2年度	実施	
				令和3年度	実施	
				令和4年度	実施	
プロセス	健康ポイントの内容について	研究調査	実施	平成29年度	研究調査	A
				平成30年度	研究調査	
				令和元年度	研究調査	
				令和2年度	研究調査	
				令和3年度	実施	
				令和4年度	実施	
アウトプット	健康ポイントの実施	研究調査	実施	平成29年度	研究調査	A
				平成30年度	研究調査	
				令和元年度	主要事業要望	
				令和2年度	研究調査	
				令和3年度	実施	
				令和4年度	実施	
アウトカム	健康ポイントの参加率 (募集人数1,000人に対する参加者数の割合)	-	20%	平成29年度	-	A
				平成30年度	-	
				令和元年度	-	
				令和2年度	-	
				令和3年度	25.9%	
				令和4年度	30.3%	